

# 事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	芸術文化係	
■評価事業名称	日本現代詩歌文学館管理運営事業				
■事業開始年度					
■評価事業コード	090200 - 257	■会計区分	一般会計		
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり			
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進			
	■施策	01 芸術文化活動の推進			
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの				
■法令等の名称					
■関連計画の名称					
■事業の目的と概要	貴重な詩歌資料が良好な環境で保存され、詩歌研究の拠点施設として、利用者が快適に安全に利用できている。展示、貸室、講座、文学館賞贈賞式、雑草園管理公開、施設維持運営、資料収集・分類・保存、レファレンス				

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01	日本現代詩歌文学館管理運営事業	全国の詩歌研究者、市内外の利用者	開館日数 338日 □レファレンス件数 350件 入館者数 30,000人	開館日数 338日 □レファレンス件数 223件 入館者数 28,252人

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	75,739	95,389	104,847	99,355	
人件費	38,704	23,109	15,862	15,918	
その他(公債費・減価償却費等)	30,486	30,480	30,474	29,302	
フルコスト	144,929	148,978	151,183	144,575	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	寄贈等資料数	28569	33200	37892	28746	
02	施設利用件数	312	387	388	382	
03	来館者数	27225	27333	31900	28252	利用者数のカウント

# 事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

04	資料単価コスト	5.07千円	4.49千円	3.99千円	5.03千円	経費/資料数
05	入場者単価コスト	5.32千円	5.45千円	4.74千円	5.12千円	経費/入場者

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

事業計画のとおりに進められた。

### 問題点・課題等

寄贈資料、来館者数が減少した。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

全国で唯一の詩歌専門文学館として、さらに価値を高める工夫を行いながら、事業を継続していくことが必要である。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了